

議会の声や  
市民の声を  
つなぐ



日本共産党北区議会議員  
**さがらとしこ**  
区政レポート  
2012.11.9.No.1098.

ご相談はお気軽に  
TEL とも **3905-0970**  
FAX とも

さがらとしこ事務所  
赤羽北3-23-17  
(バス停「赤羽北3丁目」・メガシティ近く)

日本共産党議員団  
区役所内 3908-7144  
<http://www.kitanet.ne.jp/kyoukita/>



2012.11.5  
と

# 「地域防災計画」を改定し みなさんの意見や要望を たくさん北区に届けて下さい。

11月12日~12月12日 パブリックコメント実施

- 「北区ニュース」に、その内容がのっています。また、北区のホームページでも見ることが出来ます。
- 「北区地域防災計画」の概要版をほしい方は、さがらとしこ区議事務所にご連絡ください。また、わからないことはお気軽に言って下さい。私も、一生懸命調べたり、勉強もしています。

● 11月1日に、防災対策特別委員会が開かれて、区議会として概要の説明を受けました。さらに、東大地震研究所助教 **大木聖子** (さとし) 氏を講師に、3・11から何と学ぶのか①首都直下地震による被害をどう想定し、防ごうか。②子どもを中心とした防災教育の大切さ...について、2時間の勉強会もおこなわれました。

## 家具の転倒防止はしていますか 枕元に着がえと靴を置いてありますか

● ホイッスル、携帯用LEDランプ、カバンの中に入れて持ち歩いていますか...と、大木さん。地震はどこに居ても起きる。そのメカニズムをしっかり理解して、できることから備えましょうとよびかけて **命と救う** ための研究と行動力に感動しました。

思わず「寒くなりましたね〜。」のあいさつ。体調に気をつけ。11月11日は、黄色のイメージカラーで思い思いの意志表示を。

東京大学地震研究所助教 博士(理学) **大木聖子** Satoko Oki

# 地球の声に 耳をすませて

地震の正体を知り、  
命を守る



中学校の部 **課題図書**  
地震とは何か？  
地震から身を守る方法とは？  
第50回 読書感想文全国コンクール  
青少年読書感想文全国コンクール

● 大木聖子著、著者印税はあしなが育英会を通じて、震災遺児に寄付されることとです。

11月11日(日) 全  
国  
各地

# 即時原発ゼロへ 100万人大行動

1時~赤羽西口ひろばで  
スピーチと署名活動

2時 玉馬前・三角公園でも  
スピーチ・パフォーマンス

3時 国会首相官邸前など

東京都知事選挙は、  
11月29日(木) 告示  
12月16日(日) 投票日です。

▶ なお、八幡小学校体育館が改修中のため、第39投票区投票所が変更します。  
⇒ 旧赤羽台東小学校体育館へ  
(赤羽台1丁目 1.2.6~9  
赤羽台3丁目全域、赤羽台4丁目 1.2.16)

## 北区議会が4定例会も 日程が早まりました。

- 11月13日(火) 内示会  
16日(金) 全員協議会 (傍聴可) 榊  
20日(火) 本会議 (代表・個人質問)  
21日(水) 健康・文教委員会  
22日(木) 建設・区民生活委員会  
26日(月) 企画総務委員会  
28日(水) 本会議  
29日(木) 都知事選挙告示

**年末バザー** 12月23日(日)  
桐ヶ丘郷小学校で 10時30分~

● バザー用品のご協力については、都知事選挙のあと、12月17日(月)~回収させていただきます。それまではご自宅の保管をお願い下さい。

● 12月23日(日) 午後2時~桐ヶ丘中学校でふれあいコンサートもあります。

**新春バク** 2013年1月14日(日・祝)  
千葉方面へいちご水飴など

# 原発依存から「即時原発ゼロ」の実現を

福島県では、いまも県内外への避難者は16万人。放射能被害は東日本を中心に全国に広がっています。原発事故でひとたび放射性物質が大量に放出されると、人類はその被害

を防止する手段を持っていません。使用済み核燃料「核のゴミ」を安全に処理する技術もなく、ウラン鉱石のレベルに放射能が下がるまで数万年、無害になるまでは膨大な時間がか

かります。再稼働すれば、処理方法のない「核のゴミ」は増え続けます。日本共産党は、「即時原発ゼロ」の実現」の提言を発表し、政府に申し入れました。

# 「さよなら原発」全国に広がる国民の声

○17万人が参加した「さよなら原発10万人集会」7月16日、東京

政府のハブリックコメント  
即原発ゼロ  
78.0%



○「即時原発ゼロ」の実現を「日本共産党の提言」を志位和夫委員長らが政府に申し入れ

日本共産党

## 「即時原発ゼロ」実現へ 日本共産党の提言

- すべての原発からただちに撤退する政治決断をおこなう。「即時原発ゼロ」の実現をはかること。
- 原発再稼働方針を撤回し、大飯原発を停止させ、すべての原発を停止させたまま、廃炉のプロセスに入ること。
- 青森県六ヶ所村の「再処理施設」を閉鎖し、プルトニウム循環方式から即時撤退すること。
- 原発の輸出政策を中止し、輸出を禁止すること。

## 原発から再生可能エネルギーへの転換で、 日本経済の持続可能な成長を

「再稼働しなければ電力不足に――政府の国民への脅しです。関西電力が発表した今夏の電力需給データは、大飯原発の再稼働がなかった場合でも、ピーク時の供給電力に余力があったことを示しました。再生可能エネルギーの導入可能量は、現在ある全原発の発電能力の約40倍です。この大きな可能性を現実にする本格的な取り組みを開始すべきです。

雇用も、原発よりはるかに可能性をもっています。ドイツでは、原発関連の雇用は3万人にたいし、再生可能エネルギー関係の雇用は38万人です。国の責任で、原発立地自治体への支援や地域経済の再建も進めます。

## 原発マネーと無縁な党として奮闘



日本共産党が九州電力の「やらせメール問題」を追及し、「しんぶん赤旗」がスクープするなか、玄海原発の再稼働がストップ。「原発増設・再稼働」の一点で共同を広げています。電力会社や原発メーカーから献金を受け取らない党だから、国や電力会社にもが言えます。この党を大きくして、「即時原発ゼロ」を実現しましょう。

政権与党のときから原発を推進し、事故が起きて、「原発ゼロ」に反対する自民党。民主党政権も大飯原発の再稼働に続き、大間原発の建設を容認。やめられないのは原発マネーに汚染されているからです。

- 自民** 個人献金72%が電力業界  
(共同通信2011.7.23=2009年度)  
●自民政治団体への個人献金額の72.5%が東京電力など電力9社の当時の役員・OB。
- 民主** 電力労組などから1億2千万円  
(2010年度政治資金報告書)  
●電力会社や子会社の労組を通じて、民主党県連や、国会議員13人、地方議員に資金提供。
- 維新** 大飯原発再稼働を容認  
●「建前論ばかり言ってもしょうがない。事実上の容認ですよ」(橋下代表・5月31日)と大飯原発再稼働を容認。

池内さおりさん共々「即時原発ゼロ」